高等学校 令和８年度 教科　国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2　単位

対象年次：1　年次　（再履修除く）

使用教科書：（『新編　現代の国語』[改訂版]（大修館書店）　）

教科　国語　の目標：国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を豊かにする

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う

科目　現代の国語　の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像した利する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 現代の国語の基礎を身に付けよう 【知識及び技能】 「話す・聞く・書く力」を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で自分の思いや考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 正確に聞き取るコツを考える 伝えたいことを整理して、わかりやすく話す 話合いを通して問題解決をはかる 正確で整った文を書く ・教材　等 教科書、ワーク、プリント	○			【知識・技能】 「話す・聞く・書く力」を身に付けている 【思考・判断・表現】 他者との関わりの中で自分の思いや考えを表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して他者や社会関わろうとしている	○	○	○	8
	B 評論の読み方を身に付けよう 【知識及び技能】 評論を読むための基礎的な知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を意味段落に分け、ポイントに着目しながら本文の内容をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 評論を読むための基礎的な知識を身に付ける 「ナンバーワンか、オンリーワンか」を読み、意味段落に分ける ポイントに着目しながら本文の内容をまとめる ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末			○	【知識・技能】 評論を読むための基礎的な知識を理解している 【思考・判断・表現】 本文を意味段落に分け、ポイントに着目しながら本文の内容をまとめている 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して他者や社会関わろうとしている	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	C 論理の展開を読み取る力を身に付けよう 【知識及び技能】 論理の展開を読み取るために必要な「主張と根拠」「具体と抽象」「対比」を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「水の東西」を読み、対比を利用して内容を伝えることができる。 「水の東西」を読み、要点を自分の言葉で他者に説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 論理の展開を読み取るコツ、「主張と根拠」「具体と抽象」「対比」を理解する。 ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末			○	【知識及び技能】 論理の展開を読み取るために必要な「主張と根拠」「具体と抽象」「対比」を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとしている。	○		○	3
2学期	C 論理の展開を読み取る力を身に付けよう 【知識及び技能】 論理の展開を読み取るために必要な「主張と根拠」「具体と抽象」「対比」を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「水の東西」を読み、対比を利用して内容を伝えることができる。 「水の東西」を読み、要点を自分の言葉で他者に説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 「水の東西」の全体像をつかむ 「水の東西」意味段落１・２の内容をまとめる 「水の東西」意味段落３・４の内容をまとめる ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末				【知識及び技能】 論理の展開を読み取るために必要な「主張と根拠」「具体と抽象」「対比」を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「水の東西」を読み、対比を利用して内容を伝えている。 「水の東西」を読み、要点を自分の言葉で他者に説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとしている	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	1
	D 説得力のある意見文を書こう 【知識及び技能】 意見文を書くために必要な「三段構成」を理解する。 読みやすい文を書くために必要な知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 自らの力で「問題提起」を行い、それに対する「意見」を「根拠」を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 新聞投書を読み、読み手を説得するコツを考える 新聞投書のテーマ、構成を考える 新聞投書を書く 新聞投書を相互で評価する ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末			○	【知識及び技能】 意見文を書くために必要な「三段構成」を理解している。 読みやすい文を書くために必要な知識を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 自らの力で「問題提起」を行い、それに対する「意見」を「根拠」を基に書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	14
	E 魅力的なPRをしよう 【知識及び技能】 相手に伝わりやすい話し方や身振りについて理解する 発表に即した言葉遣いについて理解する 語の選び方を工夫しながら必要な項目を正しい表記で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 構成を工夫して本の面白さやあらすじをわかりやすく伝えることができる 見た人を引き付けたり驚かせたりする視覚的な工夫を行い、本の魅力を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 ビブリオバトルに向けた準備を行う ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末	○			【知識及び技能】 相手に伝わりやすい話し方や身振りについて理解している 発表に即した言葉遣いについて理解している 語の選び方を工夫しながら必要な項目を正しい表記で書いている 【思考力、判断力、表現力等】 構成を工夫して本の面白さやあらすじをわかりやすく伝えることができている 見た人を引き付けたり驚かせたりする視覚的な工夫を行い、本の魅力を伝えることができている 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとしている	○	○	○	5
3学期	E 魅力的なPRをしよう 【知識及び技能】 相手に伝わりやすい話し方や身振りについて理解する 発表に即した言葉遣いについて理解する 語の選び方を工夫しながら必要な項目を正しい表記で書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 構成を工夫して本の面白さやあらすじをわかりやすく伝えることができる 見た人を引き付けたり驚かせたりする視覚的な工夫を行い、本の魅力を伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとする	・指導事項 ビブリオバトルに向けた準備を行う ビブリオバトルを行う 本のPOPを作成する ・教材　等 教科書、ワーク、プリント、一人一台端末		○		【知識及び技能】 相手に伝わりやすい話し方や身振りについて理解している 発表に即した言葉遣いについて理解している 語の選び方を工夫しながら必要な項目を正しい表記で書いている 【思考力、判断力、表現力等】 構成を工夫して本の面白さやあらすじをわかりやすく伝えることができている 見た人を引き付けたり驚かせたりする視覚的な工夫を行い、本の魅力を伝えることができている 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養おうとしている				20
										合計 70

高等学校 令和8年度 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語　　科 目： 言語文化　　単位数： 2 単位

対象年次： 1, 2, 3, 4, 年次 （再履修除く）

使用教科書：（ 『改訂版 新編 言語文化』（数研出版） ）

教科 国語 の目標： 国語で的確に表現し効果的に表現する資質・能力を育成するために、伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすことと同時に、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人とのかかわりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を豊かにする。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像した利する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・科目及び図書館オリエンテーション ・「古文に親しむ」（古典の基礎及び「いろは歌」や有名古典の暗唱） 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いなど、古文の学習に必要な基礎事項理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典文学作品の冒頭を暗唱することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。	・指導事項 五十音図・歴史的仮名遣いについて理解する。 「いろは歌」を暗唱する。 有名古典作品について理解し、冒頭部を暗唱する。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント	○			【知識・技能】 歴史的仮名遣いなど、古文の学習に必要な基礎事項理解している。 【思考・判断・表現】 古典文学作品の冒頭を暗唱することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	○	○	○	10
	・説話を読み味わう（「児のそら寝」） 【知識及び技能】 歴史的仮名づかいや古典常識、古文単語、文法事項など、古文の学習に必要な基礎事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の面白さを味わったり、児の気持ちを理解したり想像し、他者へ伝えることができる。 古典を学ぶ意義について考え、書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 独特のリズムに触れ、古文に親しもうとする。	・指導事項 本文を現代仮名遣いで音読する。 重要古語を中心に、古文単語の意味や文法事項を押さえ、現代語訳する。 動作主をおさえながら、話の展開を理解する。 児の心内語を指摘し、心情を理解する。 「説話集を読む楽しみ」を読み、古典を学ぶ意義を考える。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント			○	【知識・技能】 歴史的仮名づかいや古典常識、古文単語、文法事項など、古文の学習に必要な基礎事項を理解している。 【思考・判断・表現】 説話の面白さを味わったり、児の気持ちを理解したり想像し、他者へ伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 独特のリズムに触れ、古文に親しもうとしている。	○	○	○	8
	定期考査									2
2学期	・漢文から教訓を得る（漢文訓読の基礎及び「格言」「借虎威」） 【知識及び技能】 漢文を読むために必要な知識や規律を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「格言」「借虎威」を読み、言葉の意味や教訓についてなどを他者に伝えることができる。 漢文を学ぶ意義について考え、書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文独自のリズムに慣れ、意欲的に学習に取り組んでいる。	・指導事項 漢文を学ぶ意義を考える。 白文、返り点、送り仮名、句読点、書き下し文を理解する。 「格言」の漢文、故事成語「借虎威」を現代語訳する。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント		○		【知識・技能】 漢文を読むために必要な知識や規律を理解している。 【思考・判断・表現】 「格言」「借虎威」を読み、言葉の意味や教区人についてなどを他者へ伝えられる。 漢文を学ぶ意義について考え、書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文独自のリズムに慣れ、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・小説を読み味わう（「羅生門」） 【知識及び技能】 漢字・語句の読み・意味や作者芥川龍之介について理解する。 小説読解の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の設定と出来事の推移、それに伴う主人公を中心とした登場人物の心理の変化を、表現に即して読みとる。 主題を的確に読み取り、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 芥川龍之介について確認する。 本文中に出てくる漢字や言葉の意味を理解する。 本文を段落に分け、場面設定と主人公の特徴を確認する。 下人の行動と心情の変化を読み取る。 老婆の論理と、下人の考えを整理する。 下人のその後を考える。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント			○	【知識及び技能】 漢字・語句の読み・意味や作者芥川龍之介について理解している。 小説読解の基礎を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の設定と出来事の推移、それに伴う主人公を中心とした登場人物の心理の変化を、表現に即して読みとっている。 主題を的確に読み取り、考察することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	○	○	○	18
	定期考査									2
3学期	・歌物語を読み味わう（「古典常識」、伊勢物語「芥川」） 【知識及び技能】 基本的な古典常識を覚え、作品等の理解を深める。 【思考力・表現力・判断力等】 物語に描かれる登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の物語を通して、積極的に現代に生きる自分の考えを深める。	・指導事項 十二支に関連した古典常識や月の異名など、基本的な古典常識を理解する。 古語や省略された主語に注意しながら現代語訳する。 場面に即した登場人物の心情を読み取らせる。 和歌に込められた「思い」を読み取らせる。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント			○	【知識及び技能】 基本的な古典常識を覚え、作品等の理解を深めている。 【思考力・表現力・判断力等】 物語に描かれる登場人物の心情を場面に即して読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の物語を通して、積極的に現代に生きる自分の考えを深めている。	○	○	○	12
	・詩歌を味わう 【知識及び技能】 短歌の基礎知識（形式・句切れ・表現技法など）を理解できる。 【思考力・表現力・判断力等】 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」などの作品を鑑賞し、作品に込められた人間の思いについて想像を働かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品について感じたこと考えたことを自分の言葉で表現する。	・指導事項 短歌の基礎知識（形式・句切れ・表現技法など）を理解する。 作品にみられる作者の思いを読み取ることで、今も昔も変わらぬ人間の心を理解する。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント			○	【知識及び技能】 短歌の基礎知識（形式・句切れ・表現技法など）を理解できている。 【思考力・表現力・判断力等】 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」などの作品を鑑賞し、作品に込められた人間の思いについて想像することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品について感じたこと考えたことを自分の言葉で表現できる。	○	○	○	6
	定期考査									2
										合計 70